

【内閣府らのスマートモビリティシンポで事務局に オリコンサルら】

内閣府らのスマートモビリティシンポで事務局に
オリコンサルら

内閣府らが6月5日に開く「スマートモビリティプラットフォームの構築」公開シンポジウムに、オリエンタルコンサルタンツと三菱総合研究所が事務局として参画している。

政府が主導する戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第3期の一環。石田東生筑波大学名誉教授が「『自由に自立して安全・快適に環境・他人・まちに優しく皆が、モノが、サ

ービスが移動できるモビリティディバイドのない社会』を目指して」と題して第3期プログラムを説明する。大学や企業の関係者が持続可能なモビリティ・サービスと、安全・快適でにぎわいのある都市を実現するインフラ戦略を提案。パネルディスカッションも行う。

オリコンサルは、竹平誠治スマートモビリティ推進室長（オリエンタルコンサルタンツコンソーシアム研究開発責任者）が「『小さな道の大改革』への挑戦、データ活用による『事故ゼロ』の推進支援」を提案する。東京都千代田区の大手町プレイスホール&カンファレンスでの現地開催（定員300人）とオンライン

配信（1000人）で参加できる。開催時間は午後0時55分～6時。参加無料。